

1 議 事 日 程

[平成22年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成22年2月26日

午後 1 時 30 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第25号 平成22年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第26号 平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第27号 平成22年度太宰府市老人保健特別会計予算について
日程第4 議案第28号 平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第5 議案第29号 平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第6 議案第30号 平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第7 議案第31号 平成22年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第8 議案第32号 平成22年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（19名）

委員長	清水 章 一 議員	副委員長	小柳 道 枝 議員
委員	原田 久美子 議員	委員	藤井 雅 之 議員
〃	長谷川 公 成 議員	〃	渡邊 美 穂 議員
〃	後藤 邦 晴 議員	〃	橋本 健 議員
〃	中林 宗 樹 議員	〃	門田 直 樹 議員
〃	安部 啓 治 議員	〃	大田 勝 義 議員
〃	安部 陽 議員	〃	佐伯 修 議員
〃	村山 弘 行 議員	〃	田川 武 茂 議員
〃	福廣 和 美 議員	〃	武藤 哲 志 議員
〃	不老 光 幸 議員		

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（18名）

市長	井上 保 廣	副市長	平島 鉄 信
総務部長	木村 甚 治	協働のまち 推進担当部長	三笠 哲 生
市民生活部長	松田 幸 夫	健康福祉部長	松永 栄 人
建設経済部長	新納 照 文	会計管理者併 上下水道部長	宮原 勝 美
教育部長	山田 純 裕	総務課長	大藪 勝 一
経営企画課長	今泉 憲 治	市民課長	木村 和 美
人権政策課長兼 人権センター所長	蜷川 二三雄	福祉課長	宮原 仁
都市整備課長	神原 稔	上下水道課長	松本 芳 生

教務課長 木村裕子

監査委員事務局長 井上義昭

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 松島健二

議事課長 田中利雄

書記 茂田和紀

開会 午後1時30分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（清水章一委員） では、ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月15日及び16日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第25号 平成22年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（清水章一委員） 日程第1、議案第25号「平成22年度太宰府市一般会計予算について」説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（木村甚治） 平成22年度予算編成の基本的な考え方、主な事業につきましては、先ほど施政方針の中で市長が述べております。ここでは、当初予算説明資料、お手元に届けております当初予算説明資料に基づきまして説明をさせていただきます。

まず、1ページでございます。

説明資料の1ページをあけていただきますと、一般会計から特別会計、企業会計までの予算全体、この総括表のとおり平成22年度は全体で361億6,979万2,000円という数字で編成をいたしております。ここでは、議案第25号の平成22年度太宰府市一般会計予算についてご説明をいたします。

一番上の行にございますが、一般会計予算総額は、199億1,045万8,000円となっております。前年度と比較いたしますと、16億2,482万9,000円の増、率にいたしますと8.9%の大幅な増というふうになっております。

次に、2ページのほうで歳入についてご説明をいたします。

歳入の一番大きな比率を占めております1款市税につきましては、総額77億8,283万1,000円となっております。前年度と比較いたしますと7,995万6,000円の減となっております。

この市税の中身、内訳については、説明資料の5ページに細かく載せております。5ページで市税を再掲いたしております。不況の影響によりまして給与所得の減少、及び個人市民税は前年度予算よりも個人市民税1億6,363万円の減、4.7%というマイナスとなっております。法人市民税も、昨今の経済状況の反映で3,067万7,000円、6.2%の減と見込んでおります。一方で、固定資産税は、1億2,248万4,000円、4.1%の増になると見込んでおるところでございます。

先ほどの説明資料の2ページに戻ります。

10款地方交付税でございますが、国の政策で地方が自由に使える財源を増やすという地方交付税総額を配分、出口ベースで1.1兆円増額されたということの反映によりまして、本市は7.0%増の30億8,317万1,000円と、前年度よりも2億221万4,000円の増を見込んでおります。

14款の国庫支出金でございますが、前年度よりも11億6,819万1,000円と、大幅に増加いたし

ております。これは、子ども手当の創設でありますとか、生活保護費の増加等によるものでございます。

同じく15款の県支出金も、同じような理由で子ども手当や生活保護関連のことで増加をいたしてきております。

18款の繰入金でございますけれども、繰入金は26.9%減の2億1,511万6,000円と、前年度よりも7,926万9,000円減少いたしております。また、今年度も当初予算におきましては財源不足額の補てんといたしましての財政調整資金等の繰り入れは行っておりません。

次に、21款の市債でございますけれども、14.5%増の21億9,260万円で、前年より2億7,700万円増加いたしております。増加の主な理由は、交付税の補てんとしての臨時財政対策債が増えたためでございます。

市債の主なものとしたしましては、史跡地公有化事業債7億円、臨時財政対策債が11億4,000万円、その他緑地公有化事業、地域再生基盤強化事業、公園改良事業などで借入れを予定をいたしております。

なお、平成22年度末での市債残高の見込みでございますが、前年度よりも約4億1,000万円減少いたしまして、203億8,000万円程度を見込んでおるところでございます。

資料の3ページ、4ページにつきましては、自主財源、依存財源の構成表を示しておりますけれども、子ども手当国庫支出金の増の影響によりまして、これまでの自主財源のほうが割合が多かった分が逆転いたしまして、依存財源のほうが多くなっております。

次に、歳出でございますけれども、この後、6ページは目的別でございますが、8ページの性質別経費のほうでご説明をいたします。

義務的経費は、上のほうの最初に載ってまいりますけれども、人件費は、職員の退職等によりまして、前年度に比べて4,474万3,000円の減となっております。

扶助費は、子ども手当、生活保護費、障害者介護訓練等給付費及び乳幼児医療費などの増加によりまして10億2,703万円の大幅な増となっております。これが、41.7%の伸び率というふうになっております。

公債費は、5,217万9,000円増加いたしておりますが、これは、また翌年度、平成23年度からまた減少していくというふうに予定を見込んでおるところでございます。

以上、人件費、扶助費、公債費の義務的経費の総額では10億3,446万6,000円増ということで、先ほど言いました扶助費関係で大幅に増加をしてきております。

次に、物件費でございます。2億519万1,000円増加しております。主な要因としたしましては、無料妊婦健診の回数増、保育業務委託料の増、土地鑑定評価業務委託料のほか、小・中学校の特別支援学級支援員を増員したことなどによるものでございます。

その下、補助費等は、大野城太宰府環境施設組合の分が減少したものの、私立保育所創設補助金が発生いたしましたことや、消防組合負担金、福岡県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金、幼稚園就園奨励費補助金及び福岡都市圏南部環境事業組合負担金が増えたことにより

まして、トータルで2億4,821万4,000円の増というふうになっております。

普通建設事業費につきましては、平成21年度は大規模な史跡水辺公園改修工事費でありますとか公園事業を入れておりましたが、これが終了いたしましたので、この分を新年度は道路事業である地域再生基盤強化事業及び道路改良工事、通称市営土木とっておりますが、そちらのほうを増額いたしまして、トータルでは3,999万円の増となっております。

最後に、繰出金につきましては、老人保健特別会計繰出金は後期高齢者医療制度へ移行したことによりまして年々減少をしていくところでございますけれども、国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険事業特別会計繰出金及び後期高齢者医療特別会計繰出金が増加したために、6,703万7,000円の増となっております。

平成22年度の主な事業につきましては、資料の9ページ以降、各主な事業を載せております。継続及び新規、新規事業については網かけをかけておまして、この分の主なものにつきましては市長の施政方針の中でも述べておりますので、後でござんいただきたいと思っておりますが、総合計画の主要項目ごとに掲載をいたしておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます、私からの平成22年度当初予算の概要説明を終わらせていただきます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第26号 平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第2、議案第26号「平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（松永栄人） 予算書で説明をさせていただきます。

253ページをお願いいたします。

議案第26号「平成22年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

第1条に定めます歳入歳出予算総額は66億4,155万3,000円と、前年度当初予算額に比べまして4,261万円、約0.6%の減となっております。

259ページをお願いいたします。

まず、歳入でございますが、1款の国民健康保険税は15億9,223万7,000円と、前年度とほぼ同額となっております。国民健康保険の被保険者数は、少子化による人口減や高齢化により後期高齢者医療制度へ移行される方が増えるため、構造的には減少する傾向にありますが、近年の景気悪化により被用者保険から国民健康保険への加入が見込まれますことから、ほぼ横ばいで推移すると予想いたしまして計上いたしております。

2 款の国庫支出金は18億3,914万9,000円で、療養給付費等負担金の減に伴い、前年度より約1億3,000万円の減となっております。

4 款の前期高齢者交付金は、65歳以上の医療費の財政調整制度でございますが、約1億8,000万円増の14億9,635万1,000円となっております。

次に、260ページの歳出でございますが、本会計の約7割を占めます2款保険給付費につきましては、前年度とほぼ同額の45億5,108万1,000円となっております。

5 款の老人保健拠出金は、平成20年度の清算分のみ支払いとなりますことから、前年度より約1億6,000万円減の1,600万円となっております。

次に、8 款の保健事業費は、生活習慣病予防を図るため特定健診の推進により事業費の増額を計上させていただいております。構造的に離職者や高齢者等の低所得者を多く抱える国民健康保険事業の財政運営は依然として厳しい状況が継続するものと考えておりますが、今後とも医療費の適正化を図るとともに、医療保険制度の一元化など国の動向を十分に把握しながら、国民健康保険事業の安定的運営に向けて努力をしております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第27号 平成22年度太宰府市老人保健特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第3、議案第27号「平成22年度太宰府市老人保健特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（松永栄人） 議案第27号、平成22年度太宰府市老人保健特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

予算書は293ページをお願いいたします。

第1条歳入歳出予算総額を1,710万6,000円、前年度当初予算に比べまして89.5%減にて計上いたしております。

296ページをお願いいたします。

歳入予算につきましては、1 款支払基金交付金825万7,000円、2 款国庫支出金450万1,000円、3 款県支出金112万6,000円、4 款繰入金321万5,000円が主なものでございます。

次に、歳出予算につきましては、2 款医療諸費1,500万7,000円が主なものでございます。

老人保健特別会計につきましては、平成22年度が清算の最終年度となる予算計上でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議案第28号 平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第4、議案第28号「平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（松永栄人） 議案第28号「平成22年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書は309ページをお願いします。

同じく第1条、歳入歳出予算総額は9億3,775万8,000円と、前年度当初予算額に比べまして1億2,870万円、率にして15.9%の増となっております。

312ページをお願いいたします。

歳入の主なものは、1款保険料7億8,282万3,000円及び3款繰入金1億5,492万7,000円でございます。保険料につきましては、平成22年度が保険料改定年度となっており、今後の医療費増を見込んだ保険料を計上いたしております。

歳出の主なものは、1款総務費9億3,275万1,000円で、このうち9億494万5,000円が広域連合負担金でございます。広域連合負担金の内訳は、保険料負担金、事務費負担金、保険基盤安定制度負担金等でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第29号 平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第5、議案第29号「平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（松永栄人） 議案第29号「平成22年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書325ページをお願いします。

同じく、第1条、保険事業勘定予算の総額は36億8,014万9,000円で、前年度と比べ8.3%、2億8,266万1,000円の増となっております。

331ページをお願いいたします。

歳入の主なものは、1款65歳以上の第1号被保険者保険料は、今年度7億5,215万円で、前年度と比べ9.2%、6,308万4,000円の増額、2款国庫支出金は7億3,301万5,000円で、5,039万7,000円の増、3款の支払基金交付金は、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料の交付金が主なもので、4,758万3,000円を増額し、10億3,762万9,000円計上いたしております。

6款繰入金6億2,100万1,000円で、7,726万7,000円の増額でございます。

次に、歳出の主なものをご説明いたします。

332ページをお願いします。

2 款保険給付費につきましては、2億6,394万6,000円を増額し、34億3,619万4,000円。

3 款地域支援事業費は、705万1,000円を増額し、6,942万6,000円。

4 款公債費につきましては、平成12年度から平成14年度の第1期に借りました財政安定化基金償還元金として1,608万3,000円を計上いたしております。

続きまして、371ページ、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算でございますが、総額で1,908万2,000円となっております。

374ページ、歳入では、1 款ケアプラン作成費等で介護予防サービス計画費収入は、1,908万円を計上いたしております。

376ページ、歳出の主なものといたしましては、1 款嘱託職員賃金等総務費として1,901万9,000円を計上いたしております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 議案第30号 平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第6、議案第30号「平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（松田幸夫） 議案第30号「平成22年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書は379ページから390ページをご参照ください。

平成22年度の歳入歳出予算につきましては、総額297万4,000円で、対前年度比77.9%の減となっております。

予算総額が減額となりました主な要因は、歳出における公債費について前年度から1,087万円、82.7%減となったことによるものです。これは、当時、郵政省から高い利息で借入れをいたしておりました運用資金につきまして、国の公的資金補償金免除繰上償還制度にのっとりたところの繰上償還が前年度で終了したことによるものでございます。

また、歳入の住宅新築資金等補助金は、繰上償還による利子支払いが減額されたことによりまして、前年度から22万2,000円減額をいたしております。

さらに、基金からの繰入金1,058万7,000円を減額して、歳入歳出の調整を図っております。

なお、貸付償還の向上につきましては、夜間を含めまして精力的に家庭訪問などを行いまして、生活状況の把握を通しながら償還の促進と滞納者対策を図ってまいります。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 説明は終わりました。

日程第7 議案第31号 平成22年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第7、議案第31号「平成22年度太宰府市水道事業会計予算について」説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（宮原勝美） 青いほうの予算書をお開きください。

まず、1ページの予算第3条、収益的収入及び支出でございますが、平成22年度は収入総額を前年度比0.7%減の11億9,834万2,000円、支出総額を3.6%増の11億7,827万4,000円といたしておりまして、差し引き2,006万8,000円、税抜き損益収支では287万1,000円の純利益を予定しております。

続きまして、5ページの事項別明細書をお開きください。

1項1目営業収益の根幹を占めます給水収益につきましては、平成20年度は水道使用料の伸びが全くございませんでしたけど、平成21年度、順調な伸びを示しております。本年10月1日からの料金改定を加味いたしまして、平成21年度決算見込み数値をもとに平成20年度比1.8%増の10億9,163万8,000円を予定しております。

2項2目の営業外収益の加入負担金につきましては、水道普及率の向上を図るため水道料金の改定と合わせまして3年間の期限つきで近隣市並みに引き下げる給水条例の一部改正案を上程させていただいております。前年度比33.3%減の5,317万1,000円を予定しております。

予算書6ページをお開きください。

支出のほうの営業費用は11億2,962万6,000円で、前年度比4,364万7,000円、4.0%増加しておりますが、この主な要因といたしましては、1目の松川浄水原水及び浄水費、2目の大佐野浄水場原水及び浄水費の増加につきましては、2つの浄水場ともおおむね5年周期で実施しております活性炭取りかえ作業委託料を平成22年度計上しているものでございます。

また、8ページの業務費におきましては、この822万2,000円の増につきましては、10月1日から料金改定を行います料金改定システムの変更委託料による増が主なものでございます。

5目の総係費におきましては、山神水道企業団へ1人職員を派遣しております人件費の増によるものでございます。

なお、平成22年度も平成21年度同様、1日最大供給能力1万8,900m<sup>3</sup>で給水してまいります。

10ページの営業外費用4,204万8,000円で、前年度比277万8,000円、6.2%減少しておりますけど、この要因は、1目の支払い利息及び3目の消費税及び地方消費税の減によるものでございます。

次に、11ページから予算第4条に定めます資本的収入及び支出でございますが、まず収入総額、11ページでございます。3億7,743万1,000円で、前年度比3億6,776万6,000円の大幅増となっております。これは、第6次拡張事業の財源として建設企業債を1億円、それから工事負担金として福岡県から2億4,500万円、太宰府市の一般会計から3,243万1,000円を予定しているも

のでございます。

12ページの支出総額でございますが、9億8,738万円で、前年度比3億2,706万7,000円の増となっております。

平成22年度の主な建設工事といたしましては、第6次拡張事業及び三条、国分地区の配水管新設工事、また本年度から2カ年の継続事業で行います松川配水施設の整備工事、都府楼団地、高雄台地区及び関屋・向佐野線ほか配水管の布設がえ工事並びに国分台、国分ヶ丘地区の直圧給水への切りかえ等による配水施設の改良工事を予定しております。

また、企業債償還金につきましては、これまでの繰上償還等により、12ページでございますが、751万5,000円の減となっております。

以上で概要説明を終わりますが、14ページに資金計画、15ページから18ページに給与費明細書、19ページに継続費に関する調書、20ページに債務負担行為に関する調書、21ページ以降に予定損益計算書及び予定貸借対照表をつけております。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（清水章一委員） 以上で説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 議案第32号 平成22年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（清水章一委員） 次に、日程第8、議案第32号「平成22年度太宰府市下水道事業会計予算について」説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（宮原勝美） 黄色いほうの予算書でございます。1ページをお開きください。

1ページの予算第3条、収益的収入及び支出でございますが、収入総額を前年度比0.3%増の16億5,044万5,000円、支出総額を5.9%減の13億9,272万5,000円といたしてありまして、差し引きで2億5,772万円、税抜き損益収支で2億6,017万2,000円の純利益を予定しております。

事項別明細書、4ページをお開きください。

収入の1項営業収益の根幹を占めます下水道使用料は、平成21年度決算見込み数値をもとに前年度比1,357万7,000円、1.2%増の11億8,589万3,000円を予定しております。

2項の営業外収益につきましては、受取利息の減により、前年度比294万2,000円の微増となっております。

5ページからの支出につきましては、1項営業費用は10億2,676万8,000円で、前年度比502万円、0.5%の微増を予定しております。

2目流域下水道維持管理費につきましては、平成21年度から供用開始となりました内山地区の宝満川流域下水道汚水処理負担金が含まれてきております。

7ページをお開きください。

7ページの2項営業外費用は、3億5,755万5,000円で、企業債支払い利息の減などによりま

して、前年度比9,047万2,000円、20.2%減少しております。

続きまして、8ページから予算第4条に定めます資本的収入及び支出でございますが、収入総額を7億7,651万5,000円、前年度比2億9,688万9,000円、27.7%減少しておりますが、この主なものとしましては、建設改良事業の減少に伴って1項の企業債及び2項の国庫補助金が減少したこと、また、4項負担金では、宝満川流域下水道の幹線工事負担金の減が主なものでございます。

10ページ、支出総額でございますが、14億233万3,000円で、前年度比16億1,155万6,000円、53.5%減少しております。これは、11ページの主に2項企業債償還金によるものでございまして、償還利率5%以上の繰上償還がすべて平成21年度で完了したことによるものでございます。この繰上償還に伴い、平成21年度末予定の現金預金残高でございますが、12ページをお開きください。12ページの平成22年度下水道事業会計資金計画の一番下のところでございます。平成21年度末で7億6,402万4,000円まで、7億6,400万円まで現金預金が減少いたしますので、今後しばらくの間、各年度の純利益につきましては、全額を減債積立金に積み立て、資本的収支不足額の補てん財源に充てる予定でございます。

なお、平成22年度建設改良事業の主なものとしましては、北谷、内山地区及び国分地区の一部の下水道実施設計、それと枝線の築造工事並びに奥園雨水幹線の実実施設計などを予定しております。

以上で概要説明を終わりますが、先ほど申し上げました12ページに資金計画、13ページから16ページまでに給与費明細書、17ページに債務負担行為に関する調書、18ページ以降に予定損益計算書及び予定貸借対照表をつけております。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○委員長（清水章一委員） 以上で説明は終わりました。

次回は、3月15日月曜日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（清水章一委員） 以上をもちまして本日の予算特別委員会を散会します。

散会 午後2時04分

~~~~~ ○ ~~~~~